議会報告会報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="5">令和６年１０月２２日（火）
午後７時００分　～　午後８時４０分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td colspan="5">市役所４階会議室１</td></tr>
<tr><td>参加人数
（議員・事務局除く）</td><td colspan="5">３７人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出席議員</td><td rowspan="2">１　班</td><td>山本行男</td><td>藤原正光</td><td>寺田幸弘</td><td>山田浩司</td></tr>
<tr><td>石川紀子</td><td>橋本勝弘</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">役割分担</td><td>班　長</td><td colspan="2">山本行男</td><td>司会進行</td><td>藤原正光</td></tr>
<tr><td>総務委員会
報告</td><td colspan="2">石川紀子</td><td>環境産業
委員会報告</td><td>山田浩司</td></tr>
<tr><td>文教厚生
委員会報告</td><td colspan="2">寺田幸弘</td><td>受　付</td><td>石川紀子</td></tr>
<tr><td>記　録</td><td colspan="2">橋本勝弘</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>区分</td><td colspan="3">（質疑）</td><td colspan="2">（答弁）</td></tr>
<tr><td>総務委員会</td><td colspan="3">①　災害について、大雨で冠水し、街中が水浸しになったことが過去にある。排水路が雨水と汚水と分かれていると思うが、街が完全に冠水してしまった場合に、汚水排水路の方は、ちゃんと守られるのか、逆流して吹き出したりしないか、教えていただきたい。
②　避難所となるとやっぱり学校の体育館が対象になることが多いと思う。エアコンの設置が必要であるが、予算が無いとのことで進んでいない。今非常に夏が暑くて、その避難所の問題だけでなくても、学校の生徒自体も、通常の授業でもすごく暑くてたまらない。我々が学生の頃の体育館の状況とはもう全然違う。教育予算の中でも、優先順位を上にしてやっていく必要があると思うが如何か伺う。</td><td colspan="2">①大雨の際の排水量はどうなっているかについて、排水用の管路が老朽化してきている。そろそろ改修工事に入る時期ということで、去年の提言では水道課の方に懸念を伝えている。この件についてはもう少し詳しく調べて上でお答えしたい。あらためて今度、回答をお返しする。
②これに関して、実は２回ほど一般質問された議員がここにいる。やっぱり体育館に空調設備がないことは問題ではないかということを何度も当局に伝えている。</td></tr>
</table>

	③ 掛川西高等学校教員の方の車だと思うが車がずらっと並んでいる。地震が発生した時に、スムーズに移動できるか気になる。例えば近くにある商工会議所の中、広い駐車場があるので常時そっちに停めてもらうか、何かあったらすぐそちらに移動してもらうとか連携出来ないか伺う。 ④ 避難所運営について、ＴＫＢの課題を上げているが、地区の人口比によっては、避難所に入れない地区がある。自治会の各地区の人口比と避難所のキャパをどのように考えているのか伺う。 ⑤ 掛川は大井川からパイプラインで運ばれた水を飲んでいる家庭が多いかと思う。そのパイプラインの耐震強度についてかなり心配な状態なんじゃないかと聞いている。もし地震があった場合パイプラインが壊れてしまうと、復旧していくのにもかなり足かせになるかと思う。現在のものを補強するとか、耐震強度のあるパイプラインをもう１本引くとかが必要ではないか。	③今の課題について、私は初めて知った。商工会の所も、自由に使える場所ではないので、学校との連携についてを含め、今回、持ち帰って、学校、危機管理課と協議して、方向性を出したい。 ④地区によっては、今人口が増えてきているのでその対応についてということだと思うが、避難所も狭くなってきている問題とか、あるいは先ほどの避難地のところに空調設備がない問題もあって、国の方では個人の自助で避難ということも示している。まずは自分のお宅で、あるいは近所の家に避難ということまで出ている。本当に命を守るたまに必要なことを今後も検討していく。 ⑤今の耐震強度について心配という話は、去年の段階で水道課の方に水路が老朽化していて、地震が起きた際、管が破裂し、水に困るという問題が起こることを伝えている。しかし、水路を直すとお金が掛かり、今度はそれが他のところに反映されて、他の施策が出来なくなる。簡単に私も水路を直していただければ、安全だというふうには思うが、これは掛川市全体の中で、管路について、どういう計画を持って進めるのか話をしていく。その計画に基づいて、危機管理の方で危ないって言ったところと水道課の方で今心配なことがあるということでそれぞれの連携を取って報告をさせていただく。今日はすぐお答えすることができませんので、持ち帰って総務委員会の方から回答させていただく。

環境産業委員会	① 掛川駅から掛川城の間の駅通りには、遊興施設とか飲食施設がほぼない。有名どころ、松本城でも、彦根城でも、一種の商店街飲食通りが形成されている。掛川城一発だから魅力が不足している。 連担した整備を進めるべきであると思うが如何か伺う。	①先進地として視察した川越駅から商店街まで多くの観光客が集まって来ていて、食べたり、飲んだり賑わいを創出している。そうした町並みを参考としていく。いろんなお店があって、助成金をいただいて街を維持しているが、やや孤島になっていて、魅力が十分でない。それぞれ点であり、そしてその点と点を結んでそしてさらに、面で考えることが非常に大事だなと思う。実は何か商業施設ができるとかの話は今のところ聞いていない。今のご意見を持ち帰り、回答する。
	② 電柱地中化についてはどのような考えか伺う。南北やっただけですよね。あと、点在して建物を作った所、今回でいうと SK ビルですか。その前は地中化している程度。０点のところ、南側とか。他の観光地へ行くと、もっと綺麗ですよ。ちょっと情けなくなるくらいです。ものすごくお金かかるのはよく分かるが、１年に８ｍでもいいからコツコツやる。２０年後にはもうちょっと綺麗になってるのかなと。ずっとやってないですよね。	②無電柱化については、視察に行った深谷市も川越市も非常に綺麗な町並みになっている。無電柱化の状況になっていた。非常に良い学びになった。今の掛川市は進んではいないというのが現状と思う。今日いただいた意見を持ち帰り、あらためて報告させていただく。
	③ 松ヶ岡について、どうやってこの施設を観光化していくつもりなのか？周りに駐車場見当たりません。整備してる姿もありません。観光バスどうやって入れるんでしょうか？乗用車も入れません。どのように整備活用していくのか伺う。	③松ヶ岡について、駐車場は今後、東側に整備していくということを市から聞いている。先日、環境産業委員会でも松ヶ岡が今後どうしていくのかについて当局と意見交換を行った。まだまだ課題が山積である。今わかる範囲内で、現状ここまで進んでいるということについて、あらためて報告する。
文教厚生委員会	① エアコン設置の補助金について、使えないっていうふうに言われている。高価なエアコンを入れないと補助金の対象にならんということで、本当に必要な人ってのは、	①全くそういう意見をたくさん聞いている。使い勝手が悪いこともあり、今再募集をして状況である。文教の所管とは少し外れますけれど貴重な意見として承って、どん

	生活保護だけでは大変なので安いエアコンでいいよと。高いものしか補助金の対象にならんということであまり補助金が使われていないと聞いている。そういう意味で、補助金の制度設計が間違っていたんじゃないかと思うが如何か。	なふうな形にしていくかということもお答えをしていきたい。
	② 健康アプリとかいろんな言葉が出ている。アプリという言葉は別に悪いことじゃないが、実際８０代９０代前後の方に、言っても分からない方が多い。それよりも私は紙媒体をもうちょっと、利用できないのかと思う。若い人はＬＩＮＥでやりとりするが７０代以上の人っていうのは不慣れなんです。市役所のいろんな申請書あれも凄く分かりにくい。自治会で申請するのものは一本化してもらいたい。そうすればもっと分かりやすくなると思うので、このアプリも含めて、検討をお願いする。	②アプリについて文教厚生委員会でもそのような意見が出ている。アプリだけではなくて、やはり紙媒体で提供するということも大切だと思う。そうしたことを含め、市の窓口についても、改善を進めたい。
	③ 社会福祉協議会と連帯強化とあるが、これは机上の強化か、それとも予算を伴った強化か伺う。例えば、在宅介護で、入浴をさせる場合、オムツをしていると時間も経費も掛かるということで、予算の問題になる。そこで社会福祉協議会の方で経費が嵩張るのは困るからもっと早くやれと指示すれば、大変なことになる。予算をもっとアップしないと出来ない。こうした状況を踏まえた、予算の強化のことを含んでいるのか聞きたい。	③現在の段階では、予算的なことまで踏み込んでいない。とにかく連携を。社会福祉協議会に市から予算がおりているので、丸投げみたいな形ではなく、話し合いをしっかりしながら、人的な連携を強化し、併せて予算的なことも今後の課題として受けとめる。
	④うちの町内会は高齢化が進んでおり、敬老会加入人数は増えているが、敬老会の活動はどんどん下火になっている。昔は集まって何かやったりとか、ちょっと若い連中は旅行行ったりとか、そういう繋がりが非常に取れていた。最近ではほとんど	④全くその通り。この報告の中にもあるがシニアクラブの方は、向こう３軒両隣、俺たちに仕事をさせろというような話も伺っている。シニアクラブの会員の中には、地域の見守りをみんなでしていきたいんだという考えがある。担当課

	集まりもなく、敬老会自身もほぼ機能してない。敬老会の活動が非常に衰えている。今日の報告の中にも高齢者の見守りができる体制作りと書いてあるが、見守りが出来る体制っていうのは、敬老会自身の横の繋がりがないといかん。これが大原則だと思う。その大原則がなかなか出来ない。誰が施設入ったかそれも知らん。区の最大の問題になってるが、防災訓練が１２月１日にあるが、昨日一人暮らしの老人の介護が必要な人はその防災の名簿に書いてくれた。家の間取りも変えてくれみたいな書類が回ってきたけれどその防災の観点から言っても、我々の力だけでは出来ない。いかんともしがたい面がある。敬老会の活性化が第一義で、我々の力ではどうにもならんのでそこを行政、議会の方のお力を貸していただきたい。	の長寿推進課を含め、敬老会の活動について、今後どうするのかを考えている。非常に難しい問をはらんでいる。高齢者の中には、なかなか交わりたがらない、自分一人でという方もいるのも事実で、そういう人たちをどのように取り組んでいくかっていうことも、文教でも話が出ているので、当局とも話し合いをしながら、提言に向けて進めていきたい。
意見交換	① 長生きは本当に幸せなのかなと感じてる。ここに書いてあるのは、健康で年をとった方が楽しく、過ごせるようにという話。うちの母親もそうですけど寝たきりで何もできない年寄りもいる。ただ生きてるだけで医療費が年金だけでは賄えない。母親の貯金を取り崩して支払っている。寝たきりになった人の手厚く、費用が補充できるような仕組みというか、そういうのをもう少し手厚くしてもらうようなことを考えてほしい。それがやはり本人のためでもあり、家族のためになる。	①ご意見としてお伺いする。
	②コロナ禍で街の活性化イベントの開催頻度が減少している。街中を活性化ということで、以前は毎月、けっトラ市をやってましたよね。それが今回は３ヶ月に１回に。コロナのこともあるのか参加者が少なかっ	②けっトラ市を含めた賑わいづくりについては、今年度いろいろな見直しを行うという話を聞いている。これまでの開催は毎月ということでしたが、出店する側が新鮮な農産物をしっかり確保して、多

	た。出店者に聞いてみたら、何か市役所の方で一方的に３ヶ月に１回にしたことに対して、謝罪をという話も言われたものですから、説明をお願いしたい。	くの方々に来ていただくことが最大の目的であるが、出店側の数が徐々に減ったきたり、出す方々の農業者の高齢化が進んでいるなどの理由で、今年度，三ヶ月に１回開催にして、試行的だと思うが、集客や売り上げ状況を検証するということである。

議会報告会報告書

開催日時	令和６年１０月２４日（木） 午後　７時００分　～　午後　８時４０分				
開催場所	桜木ホール				
参加人数 （議員・事務局除く）	３０人				
出席議員	２　班	嶺岡慎悟	二村禮一	窪野愛子	富田まゆみ
		松浦昌巳	髙橋篤仁	安田　彰	

役割分担	班　長	嶺岡　慎悟	司会進行	窪野　愛子
	総務委員会報告	二村　禮一	環境産業委員会報告	髙橋　篤仁
	文教厚生委員会報告	富田まゆみ	受　付	松浦　昌巳
	記　録	安田　　彰		

区分	（質疑）	（答弁）
総務委員会	①　ＴＫＢ48 の最後の方で、この問題を解決するために対応できない理由は法律にあると言ったが、間違いないか。	①　国県レベルで平準化していない。法律に問題がある。
	②　どういう法律をさしているのか伺いたい。	②　トイレについて、国県で平準化していないことが問題。そういう法律がない。
	③　広域避難所は、学校が多い。今後を統合していくとどうなるのか。	③　今後、42 箇所を見直していくことになっている。
	④　古い校舎を残すという案はあるのか。	④　場合によってはあると思うが。
	⑤　42 箇所の避難所は避難者数に対するキャパは確保されているのか。雑魚寝をさせないための数とのギャップはどれくらいあるのか。そのための対応はどうなっているのか。	⑤　それが大きな課題。避難者の割合想定ができていないのが現状。そこを含めて提言に含めていきたい。
	⑥ ＴＫＢ48 がすぐできないのは行政の責任か。	⑥　能登半島は思うように行かなかった。国の政策に問題が

区分	（質疑）	（答弁）
		ある。
	⑦　これから高齢者も多くなり、動けない人もいる、中学校や小学校に避難すると決めるだけでなく、空き地や多目的広場に避難するなど、市には地区の状況に応じた対応策を考えてほしい。	⑦　イタリアでは48時間以内にベッドやトイレが国の政策でできる。日本は100年経っても変わっていない、政策を根本的に考え直していかなければならない。42 箇所以外の避難所についても細かく検証し進めていきたい。 現状として、水没する恐れのある場所に避難所があるので見直しが必要。大雨の時に川を越えて避難したくない。このような見直しを市も考えている。
環境産業委員会	⑧　どういう人たちに来てもらいたいと考えているのか。宿泊はしなくてもいいという考え方もある。ターゲットは？	⑧　経済効果を上げるために、来ていただく人を増やす。かつ再び来てもらう。ターゲットとしてはお金を使ってくれる人。子どもも含め、多世代に来てもらいたい。 海外から来る人は、静岡空港から来て掛川駅で新幹線に乗る。インバウンドの方を掛川に足止めすることを考えたい。全国から来る人が掛川を好きになって、移住につながるとよい。
	⑨　ソフトボールの全国大会は掛川でやる。日本の中心で来やすい。新幹線、高速道路を使って来やすい。そういう地の利を活かす。スポーツ大会を使って全国から集まってもらう。しかし宿泊する場所が少ない。	⑨　その通り。中心にあって、インターチェンジに新幹線。全国大会にはうってつけ。これが定着するとホテル業界も考えるのではないか。 皆さんの知っている掛川の資源をアンケートに書いてください。
文教厚生委員会	⑩　様々な高齢者がいる中で心と体の健康には、笑いヨガとか学習センターでよしもとのような笑いをやるのがよいのでは。	⑩　笑いは重要。シニアクラブなどで寄席などをやっている。参考にさせていただく。 笑う門には福来たる。山形県では笑いの条例がある。

区分	（質疑）	（答弁）
	⑪　以前、掛川市は東北大学とお茶の効能の研究をした。健康管理の中に他とは違うこととして、お茶をいっぱい飲む。飲むことで心も安定するし、善玉菌が増えるとかよいことがある。 可能な範囲でいれてもらえたら。	⑪　ためしてガッテンで掛川の深蒸し茶を取り上げてもらい当時は盛り上がった。その後健康という意味で PR はできていない部分もあるので、取り入れさせていただく。 金沢大学の研究では認知症予防に効くという論文がでている。また緑茶で乾杯という条例も出ている。ぜひ急須で飲んでいただきたい。
	⑫　桑名市の福祉ビレッジのようなものを、掛川市でも考えているのか。	⑫　希望の丘やふくしあが同じ考え方でできているが、桑名ほどコンパクトではない。掛川も、今の施設を活かしながら、桑名のような体制ができるとよい。
自由質疑	⑬　最近、発達の障害のある子どもたちの数が非常に多い。しかし市内にその診断をする病院や医師がいない。中東遠にいた医師がいなくなり、市外でも頼んで半年待ちになる。市内で対応できる対策をお願いしたい。	⑬　そういう声は聞いている。議会からも当局に対して、働きかけをしていく。
	⑭　総務委員会の避難所運営について。今年 7 月の広域避難所開設連絡が地域の避難所を飛び越えて出てしまい、関係者が戸惑った。避難所に市の職員が 1 名居たり居なかったり、避難した人もほとんど居なかった。自治会と連携してやってほしい。 危機管理監の講演で、避難できない日本人の特性を踏まえた訓練をすることが重要だと感じた。議会と市も一緒になって考えてほしい。	⑭　42 箇所開けたけど、避難した人はほとんどいなかった。菊川とかは数カ所減らして開設した。掛川ではそういう訓練をしていないので 42 箇所開設した。避難所の見直しと共に検討していくことになると思う。 市としては広域避難所を開設すれば、地域の避難所は開設する方針で考えていたが、その点が区長さん方としっかり話ができていなかった。
	⑮　検診会場が歩いて行ける場所にあったのが、今年は遠くに	⑮　南部でも同じである。歩いて行けた場所が、一つにまと

区分	（質疑）	（答弁）
	なった。徳育センターに連絡したら、元の方法に戻ることはないと言われた。高齢者が増える中受診率の向上に反するのではないのか。 　がん検診も胃と肺が同じ日にできたのが、できなくなった。問い合わせたが、回答の意味がわからなかった。	められた。熱中症予防も理由の一つ。受診率向上は大事なので、場所が減っていくことは課題。 　各地区の保健委員や区役員の負担軽減もあって検診会場集約の方向に向かっている。
	⑯　農業の高齢化が進み、今後遊休農地が増えると景観が悪くなる。議会は掛川市の農業をどう考えているのか。農業振興は？	⑯　環境産業委員会では昨年度持続可能な農業について政策提言をした。県外から来た方に大規模な農地で農業に取り組んでもらう。他にスマート農業、農協とのコラボ等を提言した。その提言について回答をもらった。市も農業振興の重要性を考えている。 　昨年から環境産業委員会では問題視している。儲かる農業にならない限り若手は農業をやらない。そこを市の作戦として打ち出すのか、農業者の方からアイデアをいただいて、それを現実化させるのか、みんなで考えて乗り切っていきたいと考えている。

議会報告会報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="5">令和６年１０月２８日（月）
午後７時　　分　～　午後８時３０分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td colspan="5">大東支所３階会議室１</td></tr>
<tr><td>参加人数
（議員・事務局除く）</td><td colspan="5">３３人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出席議員</td><td rowspan="2">１　班</td><td>山本行男</td><td>藤原正光</td><td>勝川志保子</td><td>山田浩司</td></tr>
<tr><td>石川紀子</td><td>橋本勝弘</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">役割分担</td><td>班　長</td><td colspan="2">山本行男</td><td>司会進行</td><td>藤原正光</td></tr>
<tr><td>総務委員会
報告</td><td colspan="2">石川紀子</td><td>環境産業
委員会報告</td><td>山田浩司</td></tr>
<tr><td>文教厚生
委員会報告</td><td colspan="2">勝川志保子</td><td>受　付</td><td>石川紀子</td></tr>
<tr><td>記　録</td><td colspan="2">橋本勝弘</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>区分</td><td colspan="3">（質疑）</td><td colspan="2">（答弁）</td></tr>
<tr><td>総務委員会</td><td colspan="3">①　避難所運営の説明があった。まず自分たちが運営するという決まりがあるが、役員になって始めて知った。報告書に記載のある様々なことと、住民の理解にはギャップがあり、まずは住民全員に避難所運営の決まりを周知しないといけない。これも役員の仕事となる。皆さんの考えと市民の考えの間にすごくギャップを感じるが如何か。</td><td colspan="2">①皆さんの意識を変えるっていうところは総務委員会でも今回の広域避難所が本当に安全なのかということも含め、協議をしている。今回、危機管理監が私達の課題と一緒に研修する中で。この秋からそれぞれの避難所が本当に安全に避難できる場所なのかというところを検討すると言っている。
津波であったりとか、地震であったりとか、土砂災害も想定される区域に避難所がある場合もあるので、本当にそこが安全かどうか検討していくと当局から回答を得ている。
今日、横須賀高校の生徒とミーティングする機会があり、防災のグループと話をする中で、僕がやるしかないだろうっていう、そういうキャッチフレーズでやるしか</td></tr>
</table>

		ないっていう、自分で自分の命を守る事も必要だけという考えを持っている。やはり地域の皆様こぞってみんなで参加して訓練もそうですが考えていく場を設けていくということが必要ではないかという提案を総務委員会でも深めていく。
	② 今回広域で３日間ほど避難指示が出た。大坂地区の三井の方は、自分のとこは危ないという意識の中で怖いものだから、体育館に非難した。本当は三井コミュニティ防災センターを開くのが一番いいのかもしれないが３日間と長いので。広い体育館に２人職員もいましたけど、そこがよっぽど暑かったりするので３日目には防災センターを開けた。役員が朝まで誰かが常駐しなきゃいけない。３日間役員が居ることになる。そこにいること自体が不可能ではないかなと思うこともある。防災センターを開いた方がテレビが見やすいし、クーラーは効く。開くということになると、多分皆さんは暑い体育館より快適な方に避難してくる。来る方を断る分けにもいかないから、一杯になってしまうことも考えられる。３日間開くことは不可能に近い。どのように考えますか。	②自分の地区だったらどうするかと考えながら、課題を設けていくことが重要である。そして掛川市全体としてどうしたらいいのかを考えていく。能登半島地震においても初めての被災者だということ、誰もが分からない中で被災を受けているので、災害を受けた人たちで知恵を出し合っていくことが大切である。提言の中に取入れていく。
	③ 広域避難所、大阪地区は大坂小学校になるが、今回の１月みたいに寒い時期に長期間体育館で生活しなければならない。行政の方は、学校の教室は冷暖房を付けているが、体育館への設置はどのように考えているのか。もし体育館をやめて、学校の教室を開いてくれれば、そちらに避難するっていうのも一つの方法であるが、如何か伺う。	③先日、市役所で開催した報告会でも同じ意見が出た。体育館に空調設備がないということで、夏にしても冬にしてもいい環境ではない。実はこの中の議員が一般質問で２回ほど学校の体育館にも空調設備が必要ではないかと当局にただしている。避難所が本当に運営していくだけの良い環境でいられるかどうかということを含めて、危機管理課の方で今回、見直しを

		進めている。自分たちでやれることにも限界があるので、市として広域連携を取っていくけれど、やはり国にもしっかりと体制を整えるよう要望していく。 　自分たちが被災した時は自分たちは何もやらないよっていうような方向で進めている自治体もある。一切被災していない所に、任せる。こうしたことも今、委員会で研究している。
	④ 避難場所の容量がその地域の人口に対して、十分とは思えない。簡易ベッドを用意した時の最大利用人数、簡易ベッド欲しいよと言った人に対して、全て提供できるかなど、どういうふうに考えているか。	④市では５，５００人分の簡易ベッドを用意していて、南部にも備えている。今後も必要数を順次確保していくことになる。
環境産業委員会	①南部地域の地域おこし協力隊の活動状況と成果について伺う。市の方では２名委嘱したと聞いている。一人は南部の協力隊という名前が付いている。その南部の方はこれから何をしてくれるのか、何をするのか。今現在南部地域の方については成果はどうなってるのか聞きたい。私、まち協の事務局をやっているが、一言ぐらい宣伝を兼ねてこういう事をやっていますと挨拶に来てもいいのではないかと思う。よろしくお願いする。	①地域のコーディネーターとして、国の交付金を使った制度。各自治体の強化したいところ、魅力を発信したい分野を、その協力隊に委嘱している、南部の方は耕作放棄地の解消などの役割を与えていると聞いている。
	② 観光と移住、これは別ではないかと思う。以前、親子４人で掛川に移住を希望した家族がいたが、借家がなくて、結局、浜松に家を借りた。勤務先は掛川に通っているが、折角、掛川の人口が４人増えるところがすごくもったいないと思った。やっぱり移住を促進しようと思うと、もっと不動産屋さんに協力してもらうとか暮らしやすいベースをいろんなところで作っ	②観光とシティプロモーション、これ両方分けた方がいいんではないかっていう提案。実は今年、一緒になったという経緯があり、これを研究していく内に、分けた方がいいのではないかという考えも持っている。 　観光なら観光で仕切って、観光の係みたいな位置づけのシティプロモーション、きちっとその宣伝もできるような、この街の良さを

	ていくことが大事であり、観光シティプロモーションの範疇を超えるのではないかと思う。やはり私は移住人口を増やさなければ、あるいは市役所の中で、それに特化したセクションをつくることが必要と思う。それから課題の中に、観光振興の方向性の明確化っていうのがあったが、掛川は万人向けの観光地というよりは、マニアックな方向で行った方がいいんではないかと思う。目玉を絞って宣伝したほうが良い。	宣伝していけるようなそういった係として役割を明確にしていくべきではないかと、同じような方向で今考えている。意見も踏まえて、もう一度この件については協議させてもらう。
文教厚生委員会	① 資料の中に、高齢者のひとり暮らし世帯の変化ということで８．２％増えている。その下の地区の高齢化率の状況を見ると、私たちの地域、かなり高くなってきている。いろんなことをやりましょうと言う時に、それを支える人達も段々高齢化になってきている。その中で、どのような形で市の方でやってくれるのか、地域がやるのかっていうことを考えないといけない。先ほど、桑名福祉ヴィレッジが素晴らしいと言われたが、どのような施設で何がどう素晴らしいのかちょっと分からない。説明を加えていただきたい。	①説明不足のところもあって申し訳ありません。ここは生活介護事業所、児童発達支援センター、保育所、すまいのエリアなど福祉施設が揃っていて、全てを社協が中心となって運営している。非常に連携が取れている。掛川の社協さんも一緒にこの施設、実は視察に行っていまして、相手の方と意見を聞く中、東病院とかでやってるようなことをもう少しブラッシュアップできるんじゃないかっていうような意見もいただいた。市が全部やるっていうことは、多分難しいので、まち協であったり、シニアクラブであったり、あとシルバー人材センターなど、いろんな高齢者の方たちに関わっていただくことが必要になる。 桑名福祉ヴィレッジは本当にすごいところでした。やはり必要な施設を揃えるという市長の考えがすごいということにもなる。福祉のあり方というものを一体化で、全てがそれで解決することではないが、こういう施設を作ってやってると皆さん、三世代のお宅もあると思うが孫と触れあう。こうし

		た様子をガラス越しに見学も出来る。
意見交換	①以前、不動産っていいますかね、家屋を廃屋ですね。そういうものをどっかに紹介してると、市の方でね、どの方がちょっと覚えてないんですけどもそういうこともやってますよっていうことを聞いた。今もそのことをやってますか。	①ランドバンクという空き家を登録し、紹介しているＮＰＯ団体がある。相談窓口的なことをやっている。この組織のことだと思う。
	②地域を活性化させるっていういい方法はそんな沢山あるわけじゃない。とにかくそこに仕事があるっていうことと、先ほど言ったように住む家があるとか。こうした条件をなるべく市内に作ってやらないと、新しい人も入ってこない。どこかの地域に子育てにものすごく投資してる所があって、そこは人口が増えている。だから、ある程度補助金を出すなりして地域を活性化するしかない。	②子供たちがいれば地域で養っていかなくちゃいけない。そのためには補助も必要になる。どこも同じようなことをやっている。先ほどの説明にもあるように掛川市でも６０人前後の移住者があり、結構来てくれている。地域のランドバンクや地域おこし協力隊などが地域に入り込んでやっている。こうした仕掛けにお金を投資しながら、よそから住んでいただくこと、それから住んだら地域住民とのコミュニティが問題になる。そこに住んで良かったねと地域住民とのコミュニティの問題もある。おっしゃる通りだと思うので意見をうけたまわる。
	③先の二人と関連するが、１０番の「提言の方向」とか１２番の「政府防災基本計画を改定」の中で、「栄養バランスのとれた適温の食事提供」との記載があるが、これって誰がしてくれるのか。地元がするんですか。市ですか、ボランティアがいるのか。書いてあることは非常にいいんですが、これ誰がやるのかということが増える。役員にものすごく負担が掛かる。今の状態だと役員も市の職員も被災している。石川県にいる友人からいろいろ情報をもらった。イタリアの避難所の場合あれだけやれ	③貴重なご意見を提言に入れていく。

	るのは、国が市民保護局という災害専門の機関を作っていて、全部指揮できる。プロのボランティアも何百人もいて、そういう人たちが支援するので体制自体が全然違う。今の日本のこの脆弱な体制で、なかなかその掛川市だけでどうこうしようと思ってもすごい大変と思う。ですから具体的にこれを誰がするのかっていうことを明確にしていくこと、それと掛川市が被災した場合に、もっと広域連携で、近隣の町から応援が来るとか。普段からそういう連携をもっときちんとやって、動ける人をやはり外から入れる体制っていうのを作っておかないと、いけないと思う。他の広域の市町と連携取って、具体的に避難所について誰が何をやるのかを地元で話を詰めること。それと最後に国に、やはり防災に特化した機関を作ってほしい。これを作らないと、結局、自衛隊が支援になかなか来ないことについて、県から要請が来ないからなんて事になる。	

議会報告会報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="5">令和 6年 10月 30日 （水）
午後 7 時 00 分 ～ 午後 8 時 35 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td colspan="5">掛川市大須賀支所</td></tr>
<tr><td>参加人数
（議員・事務局除く）</td><td colspan="5">３３人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出席議員</td><td rowspan="2">第３班</td><td>松 本</td><td>草 賀</td><td>寺 田</td><td>藤 沢</td></tr>
<tr><td>鈴 木</td><td>鷲 山</td><td>大 井</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">役割分担</td><td>班　長</td><td>松　本</td><td>司会進行</td><td colspan="2">鷲　山</td></tr>
<tr><td>総務委員会
報告</td><td>草　賀</td><td>環境産業
委員会報告</td><td colspan="2">藤　沢</td></tr>
<tr><td>文教厚生
委員会報告</td><td>寺　田</td><td>受　付</td><td colspan="2">鈴　木</td></tr>
<tr><td>記　録</td><td>大　井</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>区　分</td><td colspan="3">（ 質 疑 ）</td><td colspan="2">（ 答 弁 ）</td></tr>
<tr><td>総務委員会</td><td colspan="3">①避難所に備える施設について、TKBの他に空調が必要ではないか。</td><td colspan="2">①必要です。特に今夏のような猛暑の時は、体調維持に必要不可欠です。提言に盛り込みます。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">②被災直後には体育館などに入れないと聞いている。グラウンドでテント等で過ごすという事か。
　また、体育館に入れるようになったら、そこに各自でテントなどをしつらえるということか。

③非常食として用意するアルファ米のパックが大きすぎる。避難生活では温められないのではないか。もっと小分けにすべきではないか。</td><td colspan="2">②災害が起きたときまず身を寄せるのは一時避難所。そこでは生活できないから広域避難所へ移る。
　広域避難所は予め使用方法を設計して置き、収容人数なども明らかにして置き、スムーズな受入れができるよう提言する。
③大きさもさることながら、そもそもアルファ米でいいのかも含め、研究し、提言していきます。
それより重要なのがトイレの問題でトイレカーの配備や汲み取りを含めた仕組づくりも研究しています。</td></tr>
</table>

区　分	（質疑）	（答弁）
	④全体の内容は素晴らしいと思う。６つの提言の方向性も良いと思う。問題は提言に対する具体化がどこまで出来るかで、いつまでに誰が何を行なうかしっかり計画してほしい。議会もそれを継続的にチェックしてもらいたい。	④おっしゃる通りです。 市庁舎内では専門官も迎えて危機管理部門が充実してきており、議会と協力し合って継続的なチェックをしながら、提言の具体化をしていきたい。
	⑤大須賀地区には豊富な地下水がある（日量 2万ｔ）”遠くの水より近くの水”利活用を検討すべき。災害時にも必ず役に立つ。	⑤大須賀の地下水が豊富なことは知っている。地震の備えとしても利活用を図ることは大事なことだと思う。
	⑥提言は今年の防災訓練の中にどのように組み込まれるのか。 　来年になればまたテーマが変わる。せっかくの調査・提言が生かされるように取り組んでほしい。	⑥市長や部局への提言であり、今年の訓練には組み込まれない。 提言の後いろいろな活動に生かされるよう取り組みます。
環境産業委員会	質疑はありませんでした。	
文教厚生委員会	①提言の前と後で何がどのように変わるのか。 　身近に感じられない。市民が幸福感を持てるように取り組んでほしい。	①例年提言に対する市の取り組み状況について、報告を受けている。 　市が受けてからの検討・実施・結果（経過）の報告です。
	②「福祉行政と社会福祉協会との連系強化」とは何か。（すでにできているのではないか） 　「多様な生きがいに対する新たな助成」とは何か。	②情報伝達などはできているが、更にきめ細かな横の連携が必要と考えています。新たな助成とは、例えば高齢者が発案する何らかの活動を支援するための助成などです。

区　分	（質疑）	（答弁）
自由質疑・意見交換	①少子化を食止めよう、子どもを増やそうといっていることと、学校を統合していく事とどうつながるか。 　学校再編＝統合 でなく、住民が納得できるよりよい形を検討してもらいたい。	①市内の学区を３つに分け、統合や一貫校への意向を検討する事になっている。大須賀は第３期に該当し、令和２８年以降検討するエリア。 また、小学校の全校生徒が１００人を切ったら、統廃合を検討する事になっており、大渕小は該当するが、令和２８年までは検討しない。
	②教育委員会から、100人を切ったら統合するという話を聞いた。令和10年には大淵小学校が100人を切るがどうなるのか。 小さくても残す方法はあるのでは。 検討はしないが統合は決まっているとはどういう事か。 原野谷中学区では、小中一貫計画があるのに、その前に原田・原谷小学の統合が行われる。大渕と横須賀では、そうならないのか。	②令和５年に小学校の全校生徒が100人を切ったら、統合を検討することに決まったが、大須賀は第３期に小中一貫校に移行する方針なので、その前の小学校統合はないという事です。 　大渕は100人を切るが、複式学級にはならないと見込まれる。 その場合、小中一貫の前に小学校だけの統合はないと考えます。
	③学校再編について、教育委員会の説明文は、「統合に向けて検討（協議）」となっているが、これでは結論ありきではないか。白紙状態で検討や協議を行うべき。 　大須賀の豊富で良質な地下水を上水として活用すべき。 　先ほどの高齢者への新たな助成は企業等に対して行われるのか。	③おっしゃる通りで、検討や協議は白紙状態で、様々な方向性を考慮して行うべきです。教育委員会へも報告して善処します。 　地元の豊富な水資源の活用は大切なことで、今後検討します。 　高齢者への助成は、高齢者がやりたい活動を直接支援して、生きがいづくりにしたいと考えています。 活動する高齢者への支援です。

議会報告会報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="5">令和６年１１月１日（金）
午後　７時００分　～　午後　８時４５分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td colspan="5">掛川市生涯学習センター</td></tr>
<tr><td>参加人数
（議員・事務局除く）</td><td colspan="5">４６人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出席議員</td><td rowspan="2">２　班</td><td>嶺岡慎悟</td><td>二村禮一</td><td>窪野愛子</td><td>富田まゆみ</td></tr>
<tr><td>松浦昌巳</td><td>髙橋篤仁</td><td>安田　彰</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">役割分担</td><td>班　長</td><td colspan="2">嶺岡　慎悟</td><td>司会進行</td><td>窪野　愛子</td></tr>
<tr><td>総務委員会
報告</td><td colspan="2">二村　禮一</td><td>環境産業
委員会報告</td><td>髙橋　篤仁</td></tr>
<tr><td>文教厚生
委員会報告</td><td colspan="2">富田まゆみ</td><td>受　付</td><td>松浦　昌巳</td></tr>
<tr><td>記　録</td><td colspan="2">安田　　彰</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>区分</td><td colspan="3">（質疑）</td><td colspan="2">（答弁）</td></tr>
<tr><td>総務委員会</td><td colspan="3">①　原泉の泉区は道路が寸断されることも予想される。指定避難所に行けない際には自主避難所に行くしかない。そのような人たちをどのように考えているのか。
また、提言にはＴＫＢを 24 時間以内に用意するとか雑魚寝をさせないとか言っているが、無理なところもあると思う。そのような点をどのように考えているのか。
②　指定避難所に逃げるという発言をしたが、ほとんど高齢者の中で逃げることができない方もいる。そのことを含めて提言を考えてほしい。</td><td colspan="2">①　最初は人命救助、避難所はその後になる。1 週間の食料と水の備蓄を市民に訴えている。まずは地域で避難して食料などを持ち寄って生活する。ＴＫＢを 48 時間以内というのが私たちの提案。このことについて国、地域、掛川市が動くというのは不可能に近い。しかし、提言していかなければ国も県も市も動かない。
②　中間報告なので、その点も含めて協議会で練っていく。</td></tr>
</table>

	③　ＴＫＢを 48 時間と言っているが、24 時間が最適。どうしたら掛川市でそれができるか考えて、具体的なことを提言してほしい。やってほしいではだめで、詰めて提言してほしい。	③　すべてできるとは思っていない。特に危惧しているのはトイレの問題。トレーラートイレとかいろいろなトイレをすぐに設置できるよう、他の自治体と共同して進めていく努力をしていきたい。
	④　避難所の暑さ対策を入れてもらいたい。	④　避難所にエアコンという話は市でも言っている。しかし莫大な費用がかかる。42 箇所の避難所でやるには時間もかかる。学校統廃合の計画と合わせてだんだんと進めて行ければ良いと考える。暑さ対策は提言の中に入れていきたい。 女性の着替えとかについて、体育館の動線やスペースの研究が必要。トイレは屋外で暗いので研究がいる。トレーラートイレを増やしていく。
	⑤　昨年、女性の視点で見た避難所について東山口で話し合った。子どもさんが居る方が避難所から出て行く、トイレの関係や性被害の話も聞いた。このようなことも合わせて検討してほしい。	⑤　政府では防災に特化した省庁を作っていくということなので、そういうところと一緒に問題を解決していく。
	⑥　具体的に踏み込んだ提言にしてほしい。イタリアの例を挙げているが、どなたか視察に行ったのか。イタリアがいいのなら、イタリアのどの機関がどのようなことをしたのか、具体的に説明してほしい。	⑥　提言は大まかなくくりの中で進めてきた。個々には細かいところを研究していきたい。イタリアについては専門家とズームで意見交換をした際に紹介された。この例を地震対応のモデルとして紹介させていただいた。
環境産業委員会	①　深谷市や川越市から学んだこととあるが、掛川市が不足していると感じているのか。掛川市はＰＲをかなりうまくやっていると感じている。何が足りないのか。	①　川越市は掛川市と似ていて歴史的建造物＋祭りでまちを売っている。町並みも明治、大正、昭和という時代のゾーン分けができている。町並みの構想を感じる。掛川市には

		お城があるけど、歴史的背景の構想が町並みに感じられない。 　インバウンド客が掛川を素通りするので、掛川に足止めしたい。
	②　宿泊客が少ないことについて、委員の中でどんな意見が出ているのか。	②　まちの魅力を高めることで、掛川市に泊まりたい人を増やす。そうすることでホテル業者が掛川市に目をつけるようになると考える。 　花鳥園に多くの方が訪れている。その人たちを市内に周遊してもらうようにするようにしたい。
	③　区長会研修会で危機管理監から掛川西高校が甲子園に行ったときの応援と四日間お祭りをやるところは全国的にないと言っていた。それをＰＲのネタにしたら。	③　掛川にしかないものを、売っていく必要がある。何で皆さんが情報を得ているかを考えると、ＳＮＳ発信をしていくべきだと考える。
	④　移住者が令和３年から５年は、前の３年より多くなっている。移住者の移住先とその理由は調べているか。 　その理由が表に出てこない限り、何がよかったのか悪かったのか、市民に見えてこない。そういう所も出してほしい。	④　プロモーション課では、移住理由について把握している。 　掛川市に移住してくる人は東京、神奈川、埼玉の方が多い。それは通勤に便利だから。今の意見も踏まえて、提言に示していく。
	⑤　資料の写真は粟ヶ岳で、最近観光客が増えている。地元の人々に苦労をかけて茶文字を維持してきたが、人口減少、高齢化により維持管理ができなくなってきている。お力添えをいただきたい。	⑤　茶文字は掛川市の誇れる素材。この維持管理について考えて、考慮していきたい。
文教厚生委員会	①　まち中的な事柄が多い。田舎では農業をやれるとこまでやって、やれなくなったらデイサービスや施設入所と考える。アプリはお年寄りができるわけがない。そういうことは考えてもらいたい。	①　80 代以降の方がアプリは難しいと思うが、若いうちからの運動習慣が大切。地域の公民館で体操をするとか動けるうち 　は 農作業するとかいうことが大

	その他、助成金の制度とか大切だと思う。 ②　西郷地区では、世代間交流をまちづくり協議会でやっている。シニアクラブも貢献したいと言っている。西郷地区では20年後にそういう施設ができると言っているので、もっとスピード感をもってやってほしい。やる気のあるシニアの意欲をどう取り入れるかが難しい。	事。アプリについては、今あるアプリの有効活用ということであげさせていただいた。 ②　公共施設の再配置により空いた施設の有効活用はあるが、まずは今ある施設を上手に使いながら交流がもてるとよい。子ども食堂が、地域の人の交流の場になっているようなケースもある。
自由討議	①　連携強化とか部署横断とか出ているが、他人任せにならないか。顔を合わせて相談することを大切にしてほしい。 ②　8月28日金城の河川の監視カメラがよく見えなかった。その後はよく見えている。この河川の監視カメラを東山口に一つ設置することはできないのか。 ③　初馬川の上流は市の管轄。毎年のように流木や倒竹が橋桁に大量に溜まっている。撤去しても大雨が降れば溜まる。上流の護岸工事が必要。 ④　袋井土木事務所で道路と河川の要望書を提出してきた。その実現性を高くするために、市会議員からもプッシュしてほしい。護岸整備は、原状復帰が基本と言うが、それでは大水は防ぎきれない。安心できる整備を望む。 ⑤　相談シートや要望シートの回答はあるが、いつ何をやるかという内容について連絡がない。やってもらっても、要望と違う	①　連携と言っても、顔の見える連携を考えている。 ②　県河川のため、カメラの設置は県。市の河川は市が設置。カメラの要望は他地区からも出ているので、市に伝えていく ③　河川改修や浚渫は順次行っている。しかし、倒木については各地区で課題になっているので、議会の方でも提言に結びつけていきたい。 ④　掛川市選出の県議に伝え、予算付けをしてもらえるよう伝える。袋井土木事務所については、市の関係部署とも話をして住民の皆さんのご不安がとれるよう努力する。 　各地区から要望が出ているが、全員協議会でも話題になった。原状復帰が基本になる。予防工事については、なかなか補助金がでない。 ⑤　地域協働環境整備費、どぶ板事業と言われるが、それがどのように振り分けられているか、地区が困ることがないように

	ことがある。どの程度やったのか、地元にわかるように見える化してほしい。 　優先順位の付け方がわからないので、書類化、明文化してほしい。 ⑥　コロナ前は各地区、地区要望は１件当たり 30 万円、３件で 90 万円、消費税入れて 99 万円約 100 万円と聞いていた。今は年間の予算は、各地区で 100 万円の予算でできるのではないか。 　要望を出す際には、事前に業者に相談して、予算に収まるようにして出すと、実現しやすい。	できるかが課題。 　予算としては 3 億に 6000 万の補正。明文化や見える化は課題。今後調査研究していきたい。 ⑥　１件 30 万円というのはあくまでも目安。優先順位や小学校区のバランスを考慮していると聞いている。総額は３億＋6000 万の中で配分している。 　新しい区長は 30 万円とか知らない。地区要望が実現しやすい体制づくりが必要だと考える。